

2013年度 研究の成果と課題

1. 地区児童会・生徒会活動の活性化に向けた研究会〔地区代表者会〕（塩山北中学校）

2013年度東山梨児童生徒連絡協議会としての活動目標や活動計画について話し合い、今年度も「助け合い・ボランティア活動・環境問題・平和を守ること」を中心に活動を進めること、教育祭「子ども・保護者・教職員の会」を成功させること、私たちの声を県や市に要望していくことの3点を全体で確認した。学習会では、山梨県人権擁護委員の岡誠一先生をお招きし、フィリピンの子どもたちへの支援について、写真を交えながら児童生徒にわかりやすく話をしていただいた。学校に行きたくても行けないフィリピンの子どもたちの現状を知り、自分たちの恵まれた環境に感謝の気持ちを持つと共に、自分たちができるボランティア活動について考える良い機会となった。

2. 東山梨「子ども・保護者・教職員の会」（塩山北中学校）

分科会では児童会4分科会、生徒会2分科会の6分科会にわかれ、それぞれが係分担を担当し、研究討議が行われた。それぞれの提案校からは、児童会・生徒会活動の実践報告が文書資料やパワーポイントを利用してなされ、各校とも素晴らしい実践発表であった。全体会では、各分科会の報告と共に、今後の主な活動内容であるアフリカ救援米・古切手回収などのボランティア活動についても確認された。

3. 県「子ども・保護者・教職員の会」（猿橋中学校）

新しい児生連活動を創り出すために「児生連の歴史」「児生連の意義」「子ども・保護者・教職員の会を開催する意義」「地球市民としての視点を」「具体的なとりくみ」の5つが県児生連会長より提案され、質問や多くの意見が出され活発な話し合いとなった。本部提案に対する意見や自分達の学校での取り組みなど、様々な学校の様子を知ることが出来る有意義な会であった。東山梨代表として山梨南中学校が「生徒会活動」の分科会において提案を、塩山南小学校が「児童会活動」分科会において提案を行った。参加した役員校の学校も、それぞれ自校の児童会や生徒会の様子を発表し、児童・生徒間の交流が深まる大変有意義な会となった。

4. 第2回県代表者委員会（甲府市中央部市民センター）

県「知事・教育長と語る会」（山梨県庁）

甲府市中央部市民センターにおいて第2回県代表者会が1月31日（金）に開催。知事と語る会の内容検討と児生連活動の反省が主な議題である。その後山梨県庁に移動し、知事・教育長および議長と語る会が行われた。今年度は知事の都合が合わずに副知事と語る会であったが東山梨児生連として塩山北中、牧丘第三小の会長が意見を述べてきた。県議会の議場も見学させていただき、貴重な体験ができた。

5. ボランティア活動について

- ・アフリカ救援米(32校参加)約943.1kg, 輸送費募金(27校参加)300,853円
- ・古切手(32校参加)56.29kg, ・使用済みカード類(25校参加)1,942枚
- ・ベルマーク(23校参加)2,985g 各校の取り組み及びご協力に感謝したい。

(児童生徒連絡協議会担当 武井松里子)